

6年後に達成する目標（健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標） 男性のメタボリックシンドローム及びメタボリックシンドローム予備群の割合を令和11年度に39.5%以下とする

健康課題の抽出

情報系システムの定型レポート、Zスコア、支部別スコアリングレポート等の医療・健診データから支部の特徴や健康課題を確認し、戦略的保険者機能強化アクションプラン、事業計画、特定健康診査等実施計画のほか、都道府県健康増進計画や都道府県医療費適正化計画等との調和を図りつつ、対策を進めるべき健康課題を抽出する。

背景、不適切な生活習慣

■風土・気候 北西部山地をひかえ、東と南が平野と海に面し、太平洋の黒潮の影響を受けているため、温暖で雨量の多い太平洋側気候となっている。
■主な産業 神奈川県は京浜工業地帯にあり、主な産業は自動車工業（川崎、横須賀、藤沢、茅ヶ崎）、造船業（横浜、横須賀）、化学工業（平塚、小田原）、鉄鋼・石油化学工業（川崎）など。
■人口・世帯の状況（令和2年度国勢調査） 神奈川県の人口は924万人、総世帯数は422万世帯であり、東京都に次いで全国2位。
■事業所数・被保険者数（令和5年6月末時点） 事業所数：156,875事業所、被保険者数：1,057,446人、被扶養者数：596,450人
■生活習慣（2022年度支部別スコアリングレポート） 飲酒、食事、喫煙の生活習慣要改善者の割合が高い。

生活習慣病予備群

■特定保健指導実施率（2022年度）（ ）内は全国順位（高い順）
■生活習慣病リスク保有者の割合（2022年度） ※スコアリングレポートによる年齢調整平均値
■生活習慣病リスク保有者の割合（2021年度）：年齢別 ※医療費分析の資料・地域の医療費分析等に関するデータの追加資料より抜粋
■特定保健指導該当者割合（業種別上位5業態）

生活習慣病

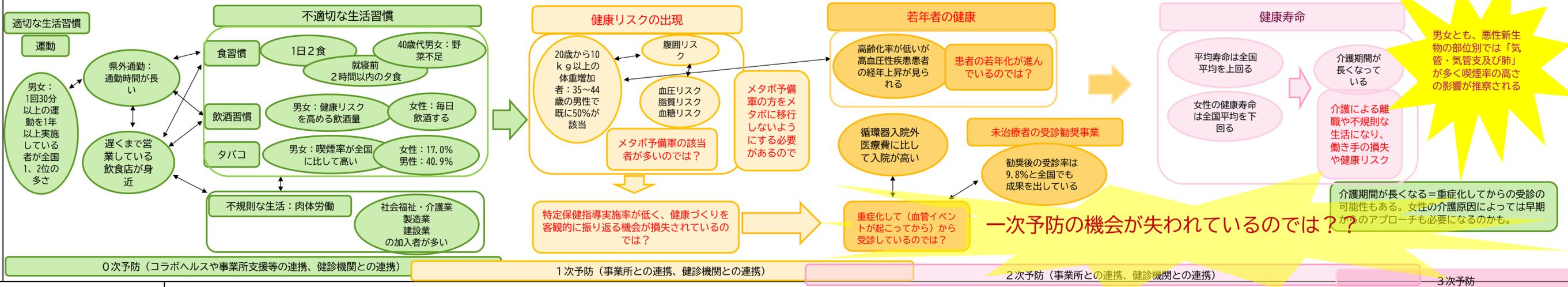
■入院1人当たり医療費（2021年度、年齢調整後）（ ）内は全国順位
■入院外1人当たり医療費（2021年度、年齢調整後）（ ）内は全国順位
■慢性腎不全患者数の推移（神奈川県・全国）（単位：千人）
■糖尿病性腎症による新規透析導入患者数
■神奈川県の高齢化率（令和元年度）
■主因死因別死亡者数（令和2年度）（神奈川県衛生統計年報）
■年齢調整死亡率（令和3年度、国立社会保障・人口問題研究所）
■悪性新生物を簡単分類（人口10万対）でみてみると
■神奈川県の高齢化率（令和元年度）
■主因死因別死亡者数（令和2年度）（神奈川県衛生統計年報）
■年齢調整死亡率（令和3年度、国立社会保障・人口問題研究所）
■悪性新生物を簡単分類（人口10万対）でみてみると
■神奈川県の高齢化率（令和元年度）
■主因死因別死亡者数（令和2年度）（神奈川県衛生統計年報）
■年齢調整死亡率（令和3年度、国立社会保障・人口問題研究所）
■悪性新生物を簡単分類（人口10万対）でみてみると

重症化、要介護状態、死亡

■平均寿命・健康寿命（令和元年度） 神奈川県の平均寿命は男性82.07歳、女性87.88歳であり、ともに全国平均（男性81.41歳、女性87.45歳）を上回っている。
■高年齢化率（令和元年度） 神奈川県の高年齢化率は、25.8%（全国29.0%）と低い
■主因死因別死亡者数（令和2年度）（神奈川県衛生統計年報） 令和2年の神奈川県の主要死因別死亡者数では、悪性新生物が24,538人と最も多く、続いて心疾患12,549人、脳血管疾患5,839人となっている。
■年齢調整死亡率（令和3年度、国立社会保障・人口問題研究所） 神奈川県の年齢調整死亡率は、男性117.2、女性111.7と、全国平均（男性117.2、女性111.7）より低い。
■悪性新生物を簡単分類（人口10万対）でみてみると 女性：気管、気管支及び肺の悪性新生物28.3、結腸の悪性新生物23.9、乳房の悪性新生物23.5、膵の悪性新生物23.0、胃の悪性新生物15.6、子宮の悪性新生物9.5、男性：気管、気管支及び肺の悪性新生物84.7、胃の悪性新生物45.3、結腸の悪性新生物33.4、膵の悪性新生物32.1、肝及び胆管の悪性新生物24.7、前立腺の悪性新生物24.1

現状

健康課題



対策を進めるべき重大な疾患（10年以上経過後に達するゴール）

循環器系疾患の入院受診率を全国平均以下とする

3次予防